

令和7年度お茶の水女子大学経営協議会〔第1回〕議事録

日 時：令和7年6月24日（火）15：00～17：05

出席者：（学外委員）五十嵐委員、河村委員、小坂委員、小西委員、小安委員、佐藤委員、
篠塚委員、杉村委員、豊田委員、藤崎委員

（学内委員）佐々木学長、加藤理事、曹理事、石井理事、坂元理事、谷理事、相川副学長、
井上副学長、福本副学長（事務総括）

（陪 席）宮井監事、中野監事

富士原副理事、斎藤副理事、山田副理事、
新名文教育学部長、近藤理学部長、飯田生活科学部長、大瀧共創工学部長、
安成大学院人間文化創成科学研究科長

○令和7年度より委員に就任された小西委員、曹理事、相川副学長、井上副学長より挨拶があった。

I. 議事録（案）の確認

記録内容及び大学ホームページへの掲載について、了承した。

II. 学長報告

1. 創立150周年記念式典の開催について

佐々木学長より、資料に基づき説明があった。

III. 審議事項

1. 学長選考・監察会議委員の選出について

加藤理事及び福本副学長（事務総括）より、学長選考・監察会議委員の選出について説明があり、審議の結果、五十嵐委員、河村委員、小坂委員、小西委員、小安委員、篠塚委員の6名が選出された。

2. 令和6（2024）年度決算について

加藤理事より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3. 令和8（2026）年度概算要求について

加藤理事及び福本副学長（事務総括）より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

藤崎委員より、国際化を進めていく上で、外国人及びバイリンガル教員を増やすための中長期的な計画が必要であることの見解があり、加藤理事より、今後の検討課題として取り組むことの説明があった。

4. 令和6（2024）事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

坂元理事より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。また、今回より「ビジョンの達成状況について」を加えたことの補足があった。

- 五十嵐委員： お茶大が掲げる「総合知」に対する成果について確認があった。
- (坂元理事)： 共創工学部の設置等は本ビジョンに対する一つの成果であり、多様性やジェンダーに関する教育などの観点も含めて「総合知」として人材を育成していくことの説明があった。
- 小安委員： ビジョン「女性が活躍できる社会の実現」に対する達成状況の評価及び取組について確認があった。
- (石井理事)： 今後はダイバーシティの推進及び、交差性にも力を入れてジェンダード・イノベーションの研究を進めていくことの説明があった。
- 篠塚委員： 年次計画において「i（達成水準を満たしていない）」と自己評価した取組の件数の推移について確認があった。
- (坂元理事)： 中期目標・中期計画期間の最終年度には、「i」評価はなくしていく方針であることの説明があった。
- 佐藤委員： コンピテンシーの測定に関する計画及び留学生の受け入れの方針・目的について確認があった。また研究セキュリティや研究インテグリティの問題について、国としての方針やガイドラインが提示された際の対応に備えて情報収集を行う必要があるとの意見があった。
- (坂元理事)： コンピテンシーについて、数値目標の設定方法、測定方法の説明があり、後日、詳細のデータを提供することの説明があった。
- (石井理事)： 従来の留学制度に限らず、世界展開力強化事業での授業や、インドの大学との交流・協定、大学院生やポスドクの研究交流等にも注力していくことの説明があった。
- 藤崎委員： 職種別の就職人数や交換留学の人数等の目標値の設定について意見があった。
- (坂元理事)： 現在の中期計画と評価指標を踏まえて、今後検討していくことの説明があった。
- 小安委員： 年次計画において「i（達成水準を満たしていない）」と自己評価した取組について、計画の入替の可能性と今後の分析について確認があった。
- (坂元理事)： 経年で「i」評価の計画に対しては対策を行うことの説明があった。

IV. 報告事項

1. 環境報告書 2024 英語版の公表について
加藤理事より、資料に基づき報告があった。
2. カーボンニュートラルロードマップの策定について
加藤理事より、資料に基づき報告があった。
3. 令和6（2024）年度卒業者・修了者の進路状況について
曹理事より、資料に基づき報告があった。
藤崎委員より、本学の司法試験及び公認会計士、国家公務員試験の受験者数や合格者数を把握することの重要性について意見があった。
豊田委員より、卒業後のキャリアに関する追跡調査について、自分が望むようなキャリアを卒業生が築けているのかどうか、そういうことに大学の教育なりガイダンスが役に立っているのかということも把握することが重要であるとの意見があった。

4. 国際交流データについて

石井理事より、資料に基づき報告があった。

藤崎委員より、米国のトランプ政権の影響について確認があった。石井理事より、一部事業において一部大学より懸念の声が上がっているため、必要に応じて対応することの説明があった。また、文部科学省からの要請に応じて、米国の大学に在籍もしくは留学予定の学生への支援策については、今後独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）のホームページにて公表予定であることの説明があった。

5. 外部資金獲得状況について

相川副学長より、資料に基づき報告があった。

藤崎委員より、150周年記念募金の状況について確認があった。加藤理事より、現時点での寄附件数及び金額、使途について報告があった。また、同窓会跡地の建物に寄附者の名盤を設置する予定であることの説明があった。

6. 令和7（2025）年4月～6月における本学の主な活動について

井上副学長より、資料に基づき報告があった。

V. その他

佐々木学長より、今後会議の進行及び議事録の作成方法については検討する旨と、閉会の挨拶があった。

以 上